



宮城県仙台二華中学校

限りない未来への挑戦

Pioneering Spirit: Be progressive and creative Loyal Service: Be sincere and contribute

**SENDAI
NIKA
JUNIOR
HIGH
SCHOOL**

SCHOOL GUIDE 2023



校訓

進取創造 至誠貢献

教育方針

豊かな心と高い知性をもち、進取の気風と創造性にあふれ、
社会のリーダーとして、わが国や世界の発展に貢献できる人間を育成する

教育目標

- 豊かで高い知性を養い、主体的・創造的に学ぶ生徒の育成
- 礼節と品性を尊び、心豊かで包容力をもつ個性あふれる生徒の育成
- 真理と正義を愛し、未来を切り拓き世界に貢献できる生徒の育成
- 健やかな心身を育み、国際社会の中でたくましく生き抜く生徒の育成

校章



松の実を中心とし、松の葉を
図案化してこれをかこみ、外側
に鏡をかたどったものです。松
の実は日頃の学習教養の結実を
意味し、松の葉は霜雪にも変わ
らぬ常磐の緑から節操を表し、
鏡は人間としてのあるべき姿を
意味する鑑を象徴しています。

校歌

一 やまとおみなのかぐはしき
魂鎮もれる丘の辺の
常磐の杜の下蔭に
深き緑を身に占めて
生ふる千草のいや強く
真直に伸びむ友どちよ

二 黄金花咲くみちのくの
ふみの都の学びやに
あした夕べをおのがじし
道にいそしむ友どちよ
誠の心磨きつつ
清き光を世に揚げむ

作詞 渡辺 義丸
作曲 草川 信

制服紹介



洗練されたデザインと着心地のよさは集中力を高めます。

二華会館



SEEK TRUTH AND DO GOOD（真理を求め善をなせ）は、
新島襄の教育理念。

学校長のあいさつ

■学びの先端を走ります

本校は平成22年に「仙台二華中学校・仙台二華高等学校」として開校しました。ルーツは明治期にあり、令和の現在まで5つの時代にわたり、荒波とも言える時代の変化に対応するのみならず、時代を先がける人を育てる教育活動を積み重ねてきました。

■目指しましょう

○グローバルな視点をもったリーダーを

世界も日本もこれまでの価値観が通用しない課題を抱え解決への道を探っています。自ら困難に立ち向かい、創造性をもって解決の糸口を探りましょう。

○自分自身がリーダーです

二華中学校では、45分×7コマ授業の他、高校での学びや、探究活動として「インターナショナルスタディ (IS)」「サイエンティフィックリサーチ (SR)」「キャリアスタディ (CS)」学校選択教科として「シンキングメソッド (TM)」「イングリッシュプレゼンテーション (EP)」などに取り組むことによって、本物に近づきながら教科の枠を越え、体験的に学ぶ土台づくりを行います。これらが高校での学びにもつながります。

主役は自分自身、好奇心旺盛な学びあう仲間とともに全力で挑戦しましょう。

○各分野のリーダーを

将来を夢見て、政治、経済、経営、文学、語学、科学、医療、技術、教育、福祉、行政、芸術など各分野のリーダーとなって社会貢献する未来を描きましょう。

■学びの先端へどうぞ

○本物に触れます

フィールドワークを重視します。本物を見て、触れて、感じて思考します。二華の強みは、探究する場が国境を越えることもあるのです。

○協働的な学習が日常となります

学び合う対象が広がります。生徒とも、先生方とも共に学ぶことは勿論、地域、大学、研究機関、行政機関などともつながり、深く学びます。

○高校で国際バカロレア (IB) のディプロマプログラム (DP) を導入しました

東北の公立高校では初となる世界標準の教育プログラムです。外国人の先生方と日本人の先生によるチームティーチングで新しい学びに挑戦しませんか。

■二華で一緒に学びましょう

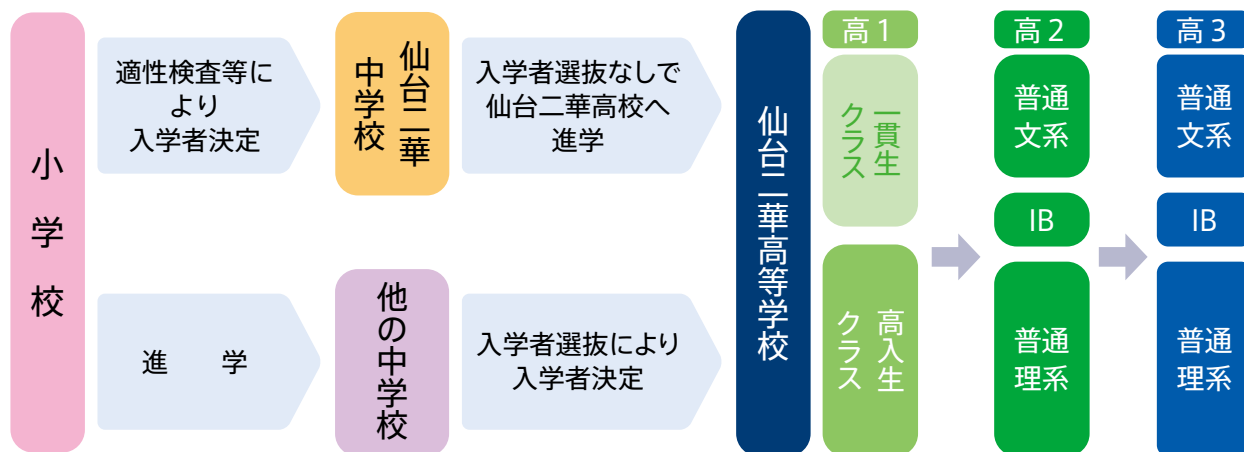
感染症対策のもとであっても、二華は歩みを止めていません。小学生の皆さんも、学びの先端を走る二華と一緒に学び、時代を先がけるリーダーを目指しませんか！



宮城県仙台二華中学・高等学校

校長 佐藤 弘人

併設型中高一貫教育のしくみ



仙台二華は、中学生と高校生が同じ校舎で学びます。また、中学校から入学する生徒も高等学校から入学する生徒もいます。多彩な個性が集う学舎で、互いに学び合い、磨き合いながら自分の可能性を発見し、人間性や社会性を高めていきます。

●高等学校1年次生は、一貫生（仙台二華中学校からの入学者）によるクラスと高入生（他の中学校からの入学者）によるクラスで別々に学び、高等学校2・3年次生では、進路の希望に応じたクラス編制を行います。

豊かな学習環境

中学校

Junior High School

高等学校の教員による授業

仙台二華中学校では、基礎学力の定着を図りながら、学ぶ意欲を高め、関心を広げる授業を展開します。高等学校の教員が中学校の授業の一部を担当し、発展的な内容を学習します。

じっくりと学べる授業

仙台二華中学校・高等学校の1コマの時間は、45分です。1日7コマ授業×週5日とし、週当たり35コマの授業を行います。仙台二華中学校では、国語・数学・英語・社会・理科の授業時数を増やし、高校で飛躍するための基礎学力の定着を図ります。

高等学校

Senior High School

志望進路に合わせた科目選択

仙台二華高等学校では、1・2年次生でほとんどの必修科目を履修し、3年次生では進路目標に応じた選択科目を履修できるように教育課程を編成しています。

きめ細やかな徹底指導

仙台二華高等学校には、各教科とも経験豊富な教員が揃っています。授業中はもとより、昼休みや放課後、至る所に生徒と教員の熱い学びの場が広がっています。高い目標をもつ生徒の進路実現を徹底的に支えていきます。



≫ 東北大学・宮城教育大学との連携

大学教授による講演や研究室への訪問、大学院生との交流など、大学で行われている最先端の研究に直接触れる機会を設定しています。また、授業研究や学校経営に対し専門性の高い助言と客観的な評価を得て、学校を継続的に改善していくシステムを創ります。



教育課程

中学校 Junior High School Curriculum

仙台二華中学校では、これからの学びの基礎・基本となることをしっかりと習得するとともに、学んだことを活用・発展できるように授業時数を多く設定しています。特に国語・数学・英語・社会・理科の5教科は、学習指導要領の標準時数を上回っています。

単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	合計
啐啄期	中学1年	国語			TM	社会			数学				理科				外国語				音楽		美術		保体		技家	特別の教科道徳	学活	総合	35					
	中学2年	国語				TM	社会			数学				理科				外国語				音楽	美術	保体		技家	特別の教科道徳	学活	総合	35						
躍動期	中学3年	国語			TM		社会			数学		数学Ⅰ		理科				外国語				EP	音楽	美術	保体		技家	特別の教科道徳	学活	総合	35					

● 仙台二華中学校の教育課程表は、令和5年度入学生を対象としています。

※1単位時間は45分

● TM (シンキングメソッド) は1～3学年において、EP (イングリッシュプレゼンテーション) は3学年において、学校選択教科として発展的な言語活動を展開します。

● 総合的な学習の時間は、IS (インターナショナルスタディ)、SR (サイエンティフィックリサーチ)、CS (キャリアスタディ) の3領域で構成します。

● 中学3年数学では、高校数学Iの2単位を先行し履修します。

高等学校 Senior High School Curriculum

仙台二華高等学校では、系統的・発展的に学びを進めながら、難関大学入試に対応した科目を選択できるように教科・科目を設定しています。各教科・科目においては、基礎・基本を十分に習得した上で、応用的な問題や発展的な内容を扱っていきます。

単 位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
躍動期	高校1年	一貫生	現代の国語	言語文化	地理総合	歴史総合		公共			数学Ⅰ	数学Ⅱ		数学A	物理基礎	生物基礎		体育 保健			芸術選択Ⅰ 音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ			英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語

● 仙台二華高等学校の教育課程表は、令和6年度高校入学生を対象としています。

※1単位時間は45分

国際バカロレア(IB) ディプロマプログラム(DP)

仙台二華高校はグローバルに活躍する人材を育成する世界標準の
教育プログラムを提供します。

仙台二華の国際バカロレア

1. 特徴

(1) 海外大学への進学を希望する生徒や新しい学び方に挑戦したい生徒を応援します。

(2) 多くの海外の大学受験に対応した科目を設置しています。

英語で授業が行われる科目については、日本人の先生と海外からの先生がペアで授業を行います。従って、英語で授業を受ける際も、日本語のサポートが受けられます。

英語で授業が行われる科目は以下の通りです。

理系の英語、数学、物理、化学、生物 文系の英語、経済、地理

(3) 海外からの先生の出身国も、中国、ベトナム、パキスタン、インド、ケニア、ザンビア、アルジェリアと多様です。定期的に各国の文化を紹介するイベントもあります。

2. 選考方法

約3か月のガイダンス・体験授業を受けたのちに、志望理由書の提出や面談を通して本人の進路希望や適性をもとに選考が行われます。

特に選抜試験等は行っておりませんが、DP開始までに英検準1級レベルの英語力を目標とした英語の勉強が望まれます。



課題研究

平成30年度まで文部科学省より指定を受けていた「スーパーグローバルハイスクール（SGH）」は、急速にグローバル化が進む現代において、国際的教養を身に付け、将来、国際的に活躍できるグローバルリーダーを高等学校段階から育成することを目指した取組でした。令和元年度からは「グローバルスタディ課題研究（略称“GS課題研究”）」という学校設定教科において、「世界の水問題の解決」に関する国際的な課題研究に取り組みながら、次世代のグローバル人材の育成を引き続き目指していきます。そして、このような学習活動を通して、学ぶ意義や自分の在り方・生き方、世界の将来等について考えることで、学習意欲の向上につなげていきます。また、高校2年次での海外研修旅行、アメリカ合衆国デラウェア州での交流派遣研修や国内外からの高校生の二華高訪問を通して、国際交流、国際理解の充実も図ります。

国際スタディ

International Study



地球環境をテーマとして、人類の共存共栄や世界の未来について探究していきます。ワークショップや講演会による異文化理解、外国人との交流やインターネットを活用した情報収集、英語でのプレゼンテーション活動を通して、異文化理解を深め、豊かに表現する能力を高め、将来、国際的に活躍できる人材を育てていきます。

サイエンティフィックリサーチ

Scientific Research



地球環境について、自然科学の考え方や手法によって探究していきます。身近な自然現象や生命活動を科学的に理解することから始め、探究の手法をテーマ毎に学んでいきます。科学的思考力を養い、課題解決能力を高めていきます。

キャリアスタディ

Career Study



中学校では職場体験学習、高等学校では社会人による講演会などを行い、「地球環境」の中で生きる自分という意識をもって将来の生き方やあり方、職業について考えていきます。また、教科科目の学習方法や大学入試についてのガイダンスを行い、効果的な学び方を身に付けさせたり、進路目標の実現に向けた意識を高めていきます。

シンキングメソッド・イングリッシュプレゼンテーション

Thinking Method・English Presentation



国際社会で求められる自分の考えを論理的に組み立て、効果的に伝える力を養います。総合的な学習の時間や国語科・英語科の学習活動と連動して学習を展開していきます。

仙台二華高等学校	3年	飛翔期 世界に飛び立つ	進路希望による科目選択によって学級を編制する	Ⅲ GS課題研究 Ⅱ Ⅰ (総合的な探究の時間と選択) (全員必修)	ホームルーム活動／学級活動	
	2年	躍動期 世界を広げる 自分を磨き、鍛える	理系と文系の類型別に科目を選択する。高入生と一貫生の混合した学級を編制する			
	1年		芸術を除き、共通履修とし、高入生による学級と一貫生による学級とを編制する			
仙台二華中学校	3年	啐啄期 自分を知る 自分を広げる	数学で少人数編制による授業を展開する	学校選択教科「TM・EP」 特別の教科道徳	総合的な学習の時間 「IS」「SR」「CS」など	
	2年		45分×毎日7コマの授業で5教科を中心に、基礎・基本を徹底する			
	1年					

中学 IS & SR & CS

中学 IS & SR 紹介

- ① IS イングリッシュキャンプ
- ② IS 世界を知る
- ③ IS 留学生との交流
- ④ SR ポスターセッション
- ⑤ SR 北上川フィールドワーク
- ⑥ SR 巡検 (冬)



高校 GS 課題研究

高校 GS 課題研究 紹介

- ① 模擬国連
- ② ゼミ別学習
- ③ 北上川フィールドワークでの
植樹・育樹活動
- ④ メコン川フィールドワーク
(インタビュー調査)
- ⑤ グループ別調査・研究
- ⑥ 学会発表

高校 1 年



高校 2 年



在校生のメッセージ

仙台二華高校 3 年次在籍

仙台二華中学校の最大の利点は恵まれた学習環境にあると思います。中学校時代を思い返してみると、中学 3 年で四苦八苦した古文の助動詞が今になって模試に出てくるので、あの授業を本当にありがたく感じています。中学校の英語の授業では、英語での会話や発言が多くて大変でしたが、そのおかげで英語を話すことがあまり苦ではなくなりました。数学は宿題の量に驚き、中学 1 年の頃は泣きべそをかきながらなんとか終わらせていました。今思えば、あの時たくさん問題をこなしたおかげで数学が得意になり、好きになりました。その先生には本当に感謝しています。

また、仙台二華中学校には頭が良いだけでなく、それぞれが得意分野を持っている個性的な仲間がたくさんいます。仲間と時に教え合い、時に切磋琢磨し合う環境は、自分一人で勉強するより遥かに楽しいです。さらに、二華には北上川FWやイングリッシュキャンプがあり、机に向かうだけではできない貴重な体験をすることができます。

二華には整った学習環境があります。皆さんも二華で、充実した学校生活を送りませんか？

仙台二華高校 2 年次在籍

私は、この学校は自分の好きなことに一生懸命になれるところだと思います。

私は元から運動することが好きで、陸上競技部に所属しています。中高一貫校の強みを生かして、陸上競技部の部活動は高校生の先輩方と一緒にを行っています。身近に大きな背中先輩方がいる空間で練習をすることができ、その憧れの姿を見て、より部活動に積極的に取り組みました。このような恵まれた環境のおかげで高校 1 年の高校総体で優勝することができました。

一方、この学校にはともに厳しい受験勉強を乗り越えてきたレベルの高い仲間たちがたくさんいます。部活動に没頭しているだけでは周りのみんなに置いていかれてしまうと気付かせてくれたのも、二華中という環境があったからだと思います。

この学校では、個性豊かで高い目標をもつ先輩方、そして仲間たちとたくさん出会うことができます。皆さんと出会えることを楽しみにしています。

国際交流・国際理解



海外との交流【中学2年生の希望者】

平成29年3月から、シンガポール共和国ウェストウッドセカンダリースクールと相互の派遣交流を行っています。中学2年生の3月に4泊5日でシンガポールを訪問し、ホームステイをしながら現地の生徒と交流します。中学3年生の11月には本校をシンガポールの生徒が訪れ、3年生全員と交流プログラムを行います。令和2～4年度は新型コロナウイルス感染予防のためオンラインでの交流を行いました。



国際交流

本校とアメリカ合衆国デラウェア州とのつながりは強く、複数の提携校との交流や州知事夫人の本校訪問、本校生徒がデラウェア州を訪れた際には毎回州知事を表敬訪問するなど、深い交流が続いています。また、他の校外で実施される国際交流プログラムに参加する生徒も多く、留学生受け入れも積極的に行っています。

アジアやアフリカなどの訪問団も受け入れており、本校の教育活動を紹介しています。



研修旅行

中学校では、日本国内の文化や歴史について見聞を広めたり、平和について理解を深めたりすることで、日本や世界の発展について考える契機とします。令和4年度は広島・京都方面で実施しました。

高校では、海外に出向き、同世代の人々と交流したり、他国の自然、歴史、文化に触れたりすることで、国際人としての視野を広げ、世界の中の日本人という自覚を高めていきます。令和4年度は沖縄方面で実施しました。

ユネスコスクール



仙台二華は、ユネスコスクールに指定されています。この取組は、地球規模の諸問題に若者が対処できるような新しい教育内容や手法の開発を目指すものです。仙台二華では、国内外のユネスコスクールとの交流や教職員の研修を行っています。

また、平成24年度は中学校3年生2名がパリのユネスコ本部で行われた「世界水の日こども議会」に参加し、水の大切さを訴えるプレゼンテーションを行いました。

仙台二華課題研究の取り組み

国際化を進める大学や国際機関等と連携し、「世界の水問題の解決」をテーマにした課題研究と海外研修・フィールドワークに取り組んで、将来のグローバル人材の育成を目指します。

○グローバル人材として身に付けさせたい5つの資質・能力

- ①現代社会を生きる地球市民としての「適切な世界観」
- ②問題の原因や構造の「本質を見抜く力」
- ③そこに生きる人々の気持ちを受け入れることのできる「共感する力」
- ④人間や社会の理想的なあるべき姿を具現化する「構想力」
- ⑤多様な人びとの意見を聞き、自分の考えや立場を「相対化する力」

○学校設定教科「グローバルスタディ（略記GS）課題研究」

- ・GS課題研究Ⅰ（高1必修）：北上川・東北地方の水問題の調査・研究
- ・GS課題研究Ⅱ（高2選択）：メコン川・東南アジアにおける水問題の調査・研究
- ・GS課題研究Ⅲ（高3選択）：国内外における研究成果発表・提言

○主な連携先

- ・国際化を進める大学
東北大学、上智大学 等
- ・国際機関
JICA、仙台観光国際協会、NGO、NPO 等

○フィールドワーク

- ・北上川フィールドワーク：高校1年次生（全員）
- ・メコン川フィールドワーク：高校2年次生（選抜）

学校行事 (令和5年度予定)

中学校

高等学校



部活動

中学校 Junior High School

運動部

ソフトテニス (男女) バドミントン (男女) 陸上競技 (男女) 卓球 (男女)
水泳 (男女) 剣道 (男女) バレーボール (女) ハンドボール (女)
バスケットボール (女) 体操 (女) ソフトボール (女) サッカー (男)

文化部

音楽 (男女) 書道 (男女) 美術 (男女) 自然科学部 (男女)

高等学校 Senior High School

運動部

バドミントン (男女) ワンダーフォーゲル (男女) 陸上競技 (男女)
卓球 (男女) 水泳 (男女) 弓道 (男女) 剣道 (男女)
バスケットボール (男女) ソフトテニス (男女) サッカー (男)
バレーボール (女) ソフトボール (女) ハンドボール (女) 体操 (女)

文化部

音楽 (男女) 書道 (男女) 美術 (男女) 文芸 (男女) 写真 (男女)
生物 (男女) 地学 (男女) 物理 (男女) 化学 (男女) 演劇 (男女)
調理 (男女) ギター (男女) 被服 (男女) 英語 (男女) 放送 (男女)
茶道 (男女) JRC (男女) 軽音楽 (男女) アニメ・漫画研究 (男女)
クイズ研究 (男女)



令和4年度 部活動成績

●陸上部 通信陸上男子400m 県中総体男子800m 県新人男子400m ●バドミントン部 市中総体若林区女子ダブルス 市中総体若林区男子個人 市中総体若林区男子団体 市新人大大会若林区男子団体 市新人大大会若林区男子個人 市中総体若林区女子個人 市中総体若林区女子団体 市新人大大会若林区女子個人 市新人大大会若林区女子団体 ●ソフトテニス部 市中総体 若林区男子個人 市中総体 若林区男子個人 市中総体 若林区男子個人	第4位 第5位 第8位 第3位 第3位 優勝 準優勝 第3位 第3位 優勝 優勝 第1位、第2位、第3位 準優勝 第1位 第3位	●新体操部 市新人大大会 男子個人 市新人大大会 男子個人 県中総体 団体競技 県中総体 個人総合 県中総体 個人種目別リボン 県中総体 個人種目別クラブ 県新人大大会 団体競技 県新人大大会 個人リボン 県新人大大会 個人フープ ●美術部 第61回宮城県造形教育作品展 令和4年度明るい選挙啓発ポスターコンクール 第34回読書感想画中央コンクール 第74回全国学生書道展 第67回毎日全国学生読書展 ●書道部 全日本書道連盟賞 規定課題の部 銀賞	第3位 第3位 第3位 第5位 第5位 第5位 第4位 第1位 第6位 特選 金賞 奨励賞 金賞 規定課題の部 銀賞
---	---	--	---

令和4年度 生徒の活躍

第90回全国書道展覧会 令和4年度中学生の「税についての作文」 特選 国税庁長官賞
第68回青少年読書感想文全国コンクール 全国審査 課題図書の部 入選 優良賞・テクノロジー賞
第10回科学の甲子園ジュニア全国大会

●ソフトテニス部 【新人大大会】女子団体ベスト8 【同県高校ソフト大会】団体・個人出場 【東北高校春季選手権大会】団体出場 ●バドミントン部 【新人大大会】女子団体ベスト16 個人ダブルス ベスト16 シングルス ベスト32 ●ソフトボール部 【新人大大会】ベスト8 (二華、南、仙台一、松島、4校合同) ●ハンドボール部 【国民体育大会】ハンドボール競技少年の部宮城県第一次予選会 ベスト8 ●女子卓球部 【宮城県高等学校総合体育大会】学校対抗 (団体戦) ベスト8 【新人大大会】学校対抗 (団体戦) 第3位 ●新体操部 【宮城県高等学校総合体育大会】団体準優勝 東北高等学校新体操選手権大会出場 【新人大大会】団体第4位 ●ワンダーフォーゲル部 【新人大大会】男子優勝 ●水泳部 【日本高等学校選手権水泳競技大会】男子400mフリーリレー、400m×ドレーリレー、800mフリーリレー、個人出場 ●剣道部 【新人大大会】女子団体ベスト8	●サッカー部 【全国高校サッカー選手権大会】決勝トーナメントに進出 【U20日本選手権】女子走高跳 出場 【県選手権大会】女子走高跳 第1位 (国体出場) 【県高校総体】女子走高跳 第1位、男子400mH 第2位、男子砲丸投 第3位、男子ハンマー投 第4位 (以上 東北総体出場) 女子4×400mR 第7位、男子4×400mR 第8位 ●陸上部 【東北総体】女子走高跳 第4位 (インターハイ出場) 【県新人大大会】女子走高跳 第2位、男子走高跳 第3位、男子砲丸投 第4位 (以上東北新人大大会出場) 男子砲丸投 第5位、男子ハンマー投 第5位、男子800m 第6位、男子三段跳 第6位、男子三段跳 第8位、男子110mH 第7位、男子4×100mR 第7位、女子400mH 第6位、女子2000mSC 第6位	●美術部 LIQUITEX THE CHALLENGE2022入選、宮城県高等学校美術展 優秀賞、2023年度全国総合文化祭出場 第71回宮城県高等学校書道展覧会 推薦 (最高賞) 第16回全国高校生刻字展 大賞 (最高賞) 第74回全日本合唱コンクール宮城県大会金賞および県理事長賞、東北支部大会銅賞 第34回宮城県声楽アンサンブルコンテスト金賞 (高校) 2023年度全国総合文化祭出場 学部「仙台・宮城」サイエンス・デイに出展、第75回宮城県高等学校生徒理科研究発表会で発表 第75回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 最優秀賞、部会長賞、2023年度全国総合文化祭出場 ◎第69回NHK杯全国高校放送コンテスト宮城県大会 (全国大会結果) 〈アナウンス部門〉優秀賞、〈朗読部門〉優秀賞 (全国大会準々決勝進出)、優良賞 〈ラジオドキュメント部門〉優良賞 (全国大会準々決勝進出)、優良賞 〈創作ラジオドラマ部門〉優秀賞 (全国大会決勝進出、全国3位 (優秀賞))、優良賞 〈創作テレビドラマ部門〉優良賞 〈研究発表部門〉優秀賞 (全国大会進出、研究奨励賞) ◎第46回全国高等学校総合文化祭 (とうきょう総文2022) ◎第41回宮城県高等学校放送コンテスト新人大大会 (東北大会結果) 〈アナウンス部門〉優秀賞 (2023年度全国総合文化祭出場・東北大会奨励賞)、優良賞 (東北大会奨励賞)、奨励賞1名 〈朗読部門〉優秀賞 (2023年度全国総合文化祭出場・東北大会進出)、優良賞 (東北大会進出) 奨励賞、入選 〈ラジオキャンペーン部門〉優秀賞 (東北大会2位 (優秀賞)) 優良賞 (東北大会進出) 〈テレビキャンペーン部門〉最優秀賞 (東北大会進出)、優良賞 (東北大会進出)、奨励賞 〈オーディオメッセージ部門〉優良賞 〈ビデオメッセージ部門〉優良賞 第42回全国高等学校クイズ選手権大会2組出場、第17回全国高校生金融経済クイズ選手権準決勝進出
---	---	---

高等学校 文化部

キャリア教育

6年間のキャリアスタディ(CS)を通して、社会のリーダーとして活躍する人材を育成します。

進路希望の達成



○主な進路行事

主な大学の合格者数

国公立大学

大学名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
東北大	34 (24)	30 (21)	31 (25)	38 (26)	29 (26)
宮城教育大	11 (7)	11 (11)	10 (8)	9 (7)	14 (14)
北海道大	4 (4)	3 (3)		5 (5)	
岩手大	5 (4)	3 (3)	12 (12)	4 (3)	2 (2)
山形大	14 (9)	18 (15)	27 (23)	23 (19)	23 (22)
福島大	2 (2)	3 (2)	4 (4)	3 (2)	2 (2)
筑波大	2 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (1)
千葉大	2 (1)	2 (1)	5 (3)	1 (1)	2 (2)
お茶の水女子大		2 (2)	2 (1)		1 (1)
東京大	3 (1)	7 (6)	3 (1)	6 (6)	8 (7)
東京外語大		1 (1)			
東京学芸大	3 (3)	1 (1)		3 (2)	2 (2)
東京工業大	1 (1)		2 (2)	1 (1)	2 (2)
一橋大			1 (1)	2 (1)	2 (2)
横浜国立大		2 (0)	2 (2)		2 (2)
新潟大	4 (2)	4 (3)	1 (0)	6 (5)	4 (4)
京都大	3 (3)	1 (0)	2 (1)	3 (3)	3 (1)
大阪大		1 (1)		1 (1)	
宮城大	14 (12)	17 (14)	12 (11)	8 (7)	9 (9)
国際教養大	1 (1)			1 (1)	
福島県立医科大	1 (1)	1 (1)	3 (3)		2 (2)
高崎経済大	1 (1)		2 (1)	2 (2)	1 (1)
横浜市立大		1 (1)		1 (1)	

私立大学

大学名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
東北学院大	63 (60)	67 (61)	85 (76)	57 (49)	71 (66)
東北福祉大	38 (31)	27 (26)	28 (26)	14 (14)	26 (26)
東北医科薬科大	12 (7)	16 (13)	24 (19)	19 (12)	24 (16)
宮城学院女子大	28 (27)	22 (21)	26 (23)	24 (24)	16 (13)
慶應義塾大	7 (3)	5 (3)	8 (7)	9 (7)	12 (11)
中央大	34 (27)	13 (9)	13 (3)	16 (9)	18 (16)
東京農業大	9 (6)	1 (1)	2 (2)	2 (1)	2 (1)
東京理科大	14 (7)	13 (10)	8 (4)	17 (12)	7 (4)
日本大	3 (2)	4 (4)	8 (3)	4 (3)	10 (8)
法政大	11 (8)	9 (5)	9 (2)	14 (8)	16 (13)
明治大	15 (10)	11 (6)	12 (5)	10 (5)	17 (16)
立教大	6 (4)	4 (1)	12 (5)	4 (2)	10 (10)
早稲田大	11 (4)	11 (5)	21 (13)	16 (16)	13 (12)
自治医大	1 (1)	2 (1)	1 (1)	1 (0)	
英マンチェスター大			1 (1)		

()内は現役合格者数

卒業生のメッセージ

東京大学 文科III類 (令和5年3月卒業生)

私が二華受検を決めたのは小6の夏。進学先の中学校に、入りたい部活が特になかったからというあまりにも消極的すぎる動機からでした。しかし調べていくうちに個性豊かなカリキュラム、イベントの数々に入れたらいいなあという気持ちも強くなり、短い期間ながらも勉強していたのを今でも思い出せます。

いざ入学してみると、興味を持ったから片っ端から手を出してしまう私にとって、二華の環境はとても適したものだったと思います。「こんなことをやってみたいと思うんですが」と相談すれば、先生方はそれをサポートして下さいますし、結果を出すのが難しそうなものに対しても背中を押して下さいました。また友人たちのレベルも高く、自分の知らないハイレベルな議論をしている会話を聞くと自分も理解できるようになるう、と思えて、もっと自分の力を高めることができます。

実際私は文系の身ではありますが、地学オリンピックに参加しました。まして東大なんて、二華の仲間たちに会えなければ考えることすらなかったでしょう。

私が東大を目指したのは、防災に携わる人間になりたいと思ったからです。そしてこの道を選んだのは、紛れもなく二華の課題研究で3年間震災と向き合い続けたことがきっかけでした。勉強だけ、ではなく他にも打ち込める何かを見つけない人へ。二華は絶対にオススメできます。

東北大学 法学部 (令和5年3月卒業生)

仙台二華は、周りの仲間に良い刺激をもらいながら、やりたいことに全力で取り組むことができる学校だと思います。

私が仙台二華で過ごした6年間、周りには常に、自分のやりたいことに精一杯取り組んでいる仲間がいました。科学の甲子園に出場する人や、部活動の大会で入賞する人、海外留学をする人といった、様々な分野で活躍する仲間がたくさんいました。私は中学、高校とバスケットボール部に所属しており、勉強と部活動の両立が大変でしたが、周囲の仲間の頑張る姿を見て活力をもらい、文武両道に励むことができました。

また、先生方のサポートが手厚いことも仙台二華の大きな魅力だと感じます。学校生活の不安や進路に関する相談にいつでもものってくださり、大学受験前には添削指導をしていただきました。一人ひとりに丁寧に対応して下さるので、普段の学校生活や勉強で行き詰まることがあっても、先生方の支えのおかげで乗り越えることができました。

個性豊かな仲間と親身になって支えてくださる先生方に囲まれて、自分の興味のあることに打ち込める仙台二華では、楽しく充実した学校生活が皆さんを待っています！

東北大学 工学部 建築・社会環境工学科 (令和5年3月卒業生)

仙台二華の最大の魅力は、様々な分野で興味関心を追求できることだと思います。中高一貫であるため、早くから自分の将来について考える機会や勉強以外の活動に触れる機会が多く、例えば部活動や国際交流、SR、CS、国際バカロレア、課題研究、科学オリンピック、各種コンテストといった様々な活動に挑戦することができます。私自身国際地理オリンピックに出場したり、東北大学の方々と課題研究を行ったり、高校生クイズに参加するなど、貴重な体験を多くさせていただきました。

また、文化祭や体育大会、研修旅行といった行事では思い切り遊びつつ、時には互いに切磋琢磨しながら過ごす仲間がいたことは二華での生活をより充実したものにしてくれました。同じような志を持った仲間が集まるということも二華ならではの魅力でしょう。

そして何より日頃からのご指導や受験時の添削・面接指導など、先生方の手厚いサポートがあったおかげで学生生活、そして大学受験を乗り越えることができ、心から感謝しています。

仙台二華にはあなたの興味関心を追求するための環境が整っています。ぜひ仙台二華でしかできない学生生活を送ってみませんか？

2024 年 入学選抜に関するスケジュール

宮城県 仙台二華中学校

【募集定員：105名】

2023年 10月30日(月)～ 11月24日(金)	県外からの出願承認願の受付 (最終日はPM3:00まで)
11月27日(月)～ 12月1日(金)	入学願書、調査書等の受付 (最終日はPM3:00まで)
2024年 1月 7日(日)	適性検査実施日
1月15日(月)	選抜結果通知書の発送 (PM4:00)

宮城県 仙台二華高等学校

【募集定員：240名】

ただし、仙台二華中学校からの
入学予定者 105 名を含む。

2024年 3月 5日(火)	高校入学者選抜(第一次募集) 学力検査
3月 8日(金)	高校入学者選抜(第一次募集) 追試験日
3月14日(木)	高校入学者選抜(第一次募集) 合格発表

Access

交通のご案内



宮城県仙台二華中学校・高等学校

JR 『JR 仙台駅』から徒歩 15 分 **バス** 『五橋駅』または、『五橋一丁目』から徒歩 7 分

地下鉄 『五橋駅』から徒歩 7 分、『連坊駅』から徒歩 7 分、『宮城野通駅』から徒歩 9 分



宮城県仙台二華中学校・高等学校

Miyagi Prefectural Sendai Nika Junior and Senior High School

〒984-0052 宮城県仙台市若林区連坊1丁目4番1号

TEL : 022-296-8101 FAX : 022-296-8103

E-mail : nika@od.myswan.ed.jp URL : <https://nika.myswan.ed.jp/>